



2026年5月期 第1四半期

決算説明資料

PostPrime 株式会社

2025年10月15日

目次

1. 会社概要
2. 2026年5月期 第1四半期 連結決算概要
3. 2026年5月期 通期 連結業績予想
4. 成長戦略

会社概要

1

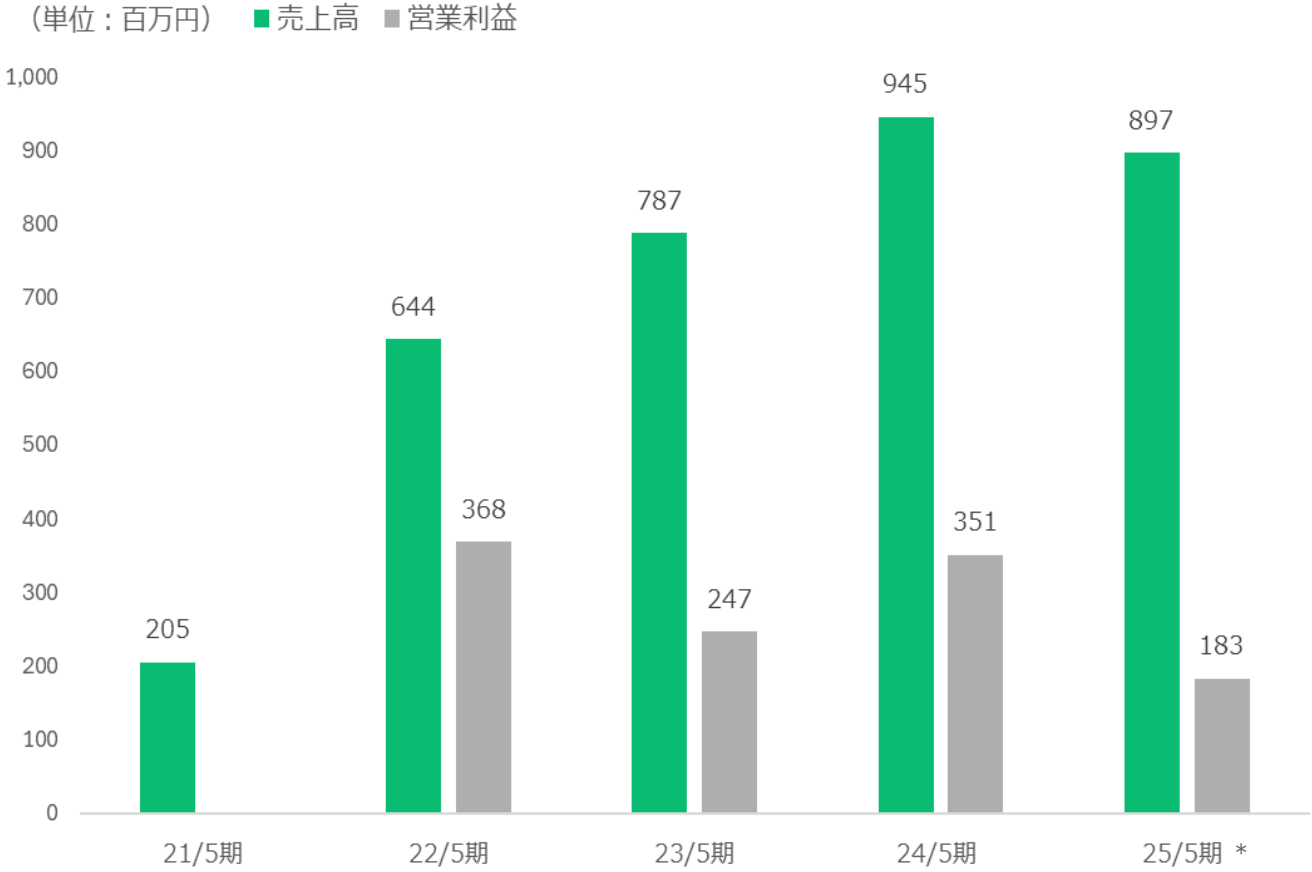
Mission

最新テクノロジーを使用して、
誰でもお金のことを楽しく学べる
プラットフォームを拡大

会社名	P o s t P r i m e株式会社
所在地	東京都港区
設立年月	2020年9月
代表者名	ヴー・ヴァン・チュン
事業内容	金融・経済の分野に強みを持つ SNSプラットフォーム"PostPrime"の開発・運営
従業員数	連結 28名（2025年5月31日現在）

スピーディな開発力を強みに、創業6期目を迎える

2020年9月	当社設立
2021年9月	SNS「PostPrime」・プライム登録 リリース
2022年6月	メンバーシップ GREEN・ライブ機能 リリース
2022年8月	メンバーシップ SILVER リリース
2022年9月	投票率通知機能 メンバーシップ GOLD リリース
2023年6月	コース リリース
2023年7月	メンバーシップ PLATINUM リリース
2024年6月	プライム Plus リリース
2024年7月	IZANAVI リリース
2024年10月	子会社PostPrime Trading株式会社 (Takatrade株式会社) 設立



※2025年5月期は連結決算

2025年5月期 第1四半期 決算概要

2

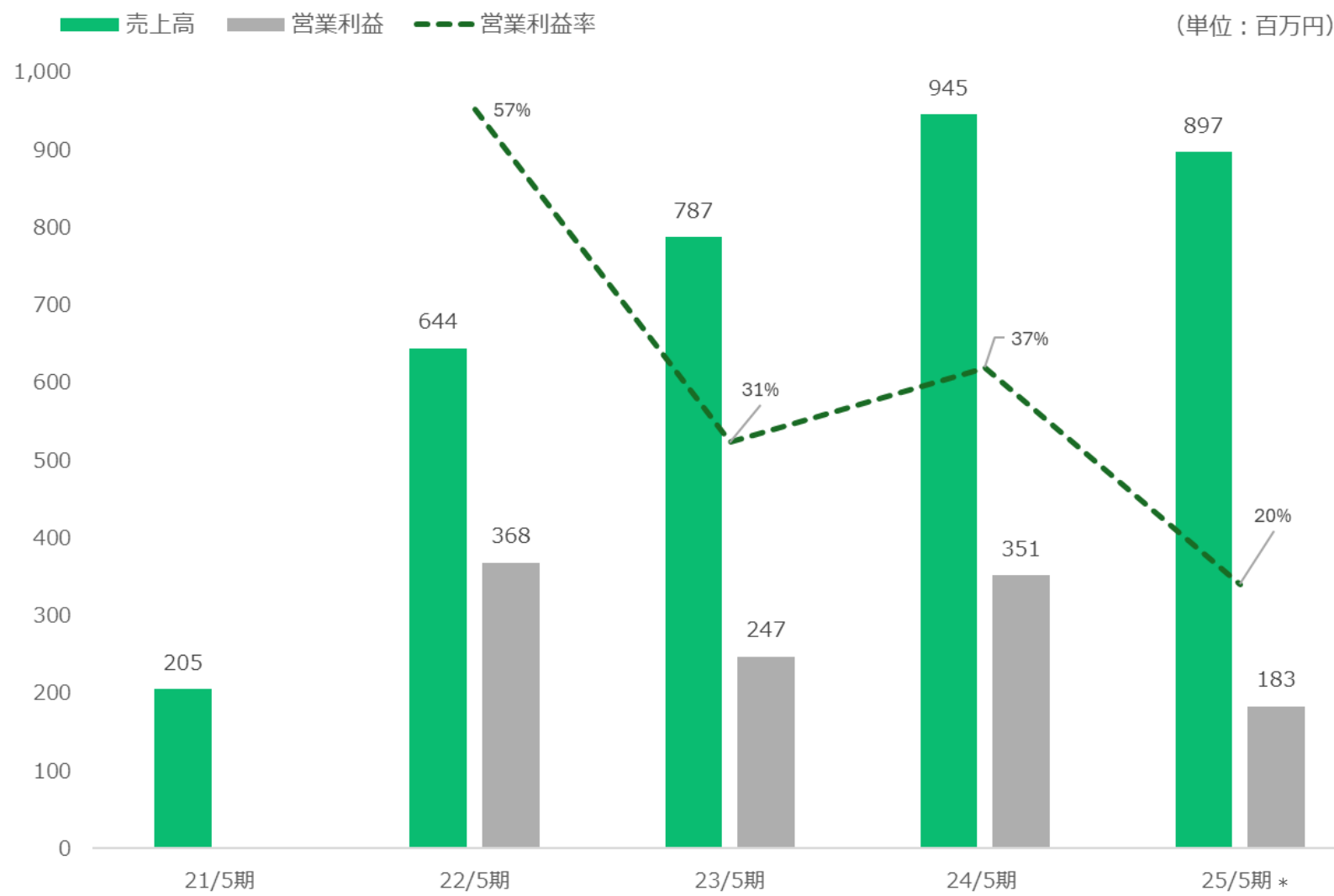
PostPrimeにおいて新規課金件数の減少により売上減
TakaTradeのリリース*遅延の影響により収益貢献が限定的となり
関連費用がかさんだ結果、営業利益が赤字となった

売上高
167百万円

営業利益
▲87百万円

営業利益率
-%

PostPrimeユーザーの情報収集環境・需要が変化している中で
今後は、各価値向上・成長施策を通じて新規課金件数獲得を狙う
加えて、TakaTradeの本格稼働で収益拡大を目指す



※2025年5月期は連結決算

＜連結損益計算書＞

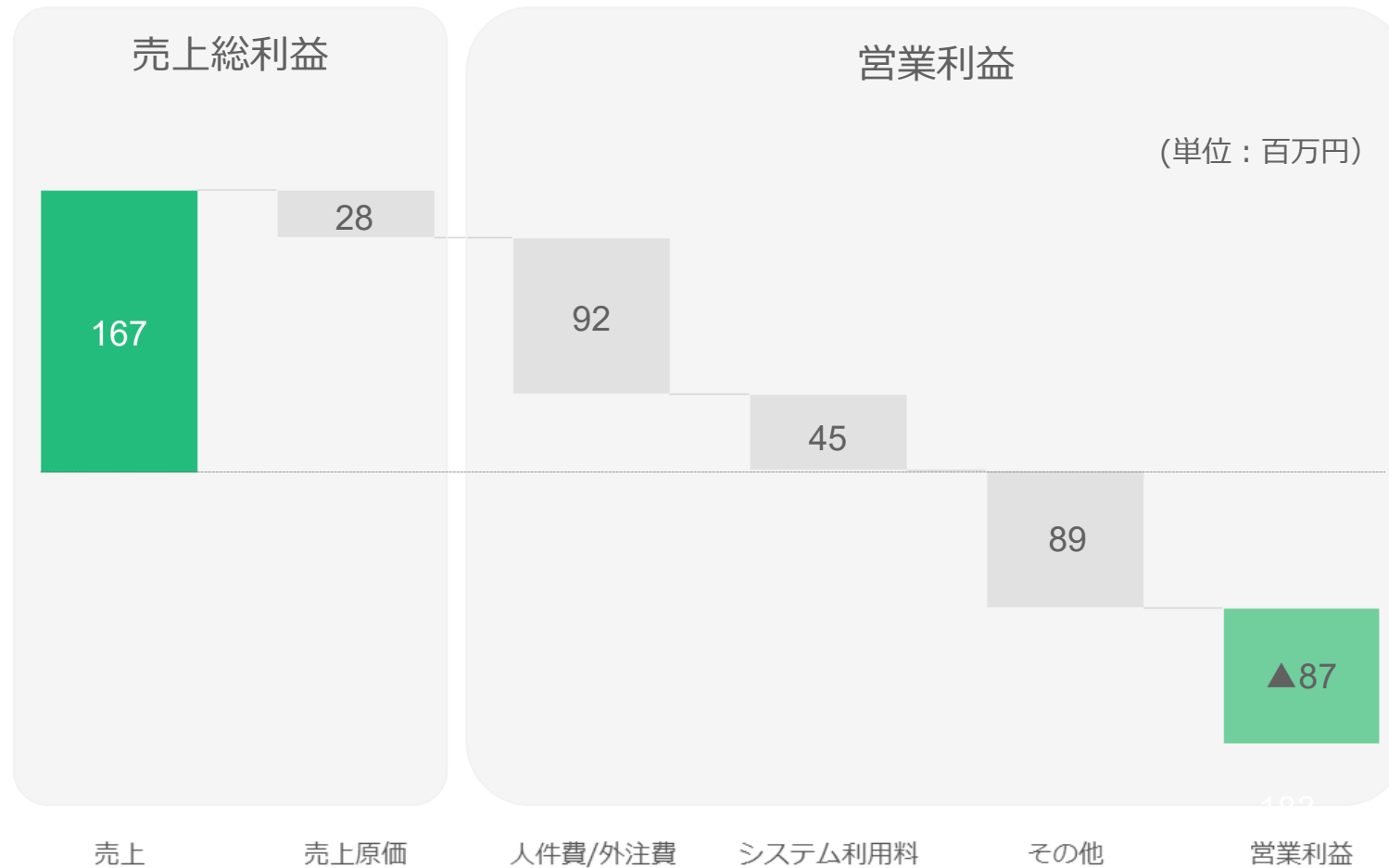
(単位：百万円)		26年5月期 第1四半期
売上高		167
営業利益		▲87
経常利益		▲80
親会社株主に帰属する 四半期純利益		▲83

＜連結貸借対照表＞

(単位：百万円)		26年5月期 第1四半期
資産合計		1,241
流動資産合計		1,206
固定資産合計		35
負債合計		273
流動負債合計		273
固定負債合計		-
純資産合計		968
自己資本比率		77.8%

2026年5月期 第1四半期 収益構造

全体売上の成長が鈍化し、新規事業への費用がかさんだ結果、営業赤字となった



2026年5月期 業績予想

3

継続的な成長へ向けて事業土台を構築することを計画

売上高
1,389百万円

営業利益
52百万円

売上高成長率
54.8%

今期は新規事業の取引プラットフォームリリース後の投資を加速し
人件費・マーケティング費・品質改善費などを計上

成長戦略

4

新規事業の創出と提供サービスの価値向上により収益拡大を図る

主な流入元の強化

YouTubeチャンネル
「Dan Takahashi」コンテンツ拡充



PostPrime 事業の成長

新サービスの提供開始



各サブスクリプションの価値向上



新規事業の開始・成長

商品CFD取引プラットフォームの展開を
通じたTAM拡大



M & A

シナジーのある候補先企業の継続的探索・マッチング

YouTubeチャンネル「Dan Takahashi」の運営方針を変更
各業界のゲストを招いた対談コンテンツ配信など配信手法を多様化

これまでのYouTube発信

金融・経済情報を中心に解説



新しいYouTube発信

各種専門家・ゲストとの対談



発信内容・方法を多様化

注目の高い様々なトピックを解説

コンテンツバリエーションの拡大

各分野のゲストを招き、
ヘルス・ライフ・テクノロジー・AIなどの
新興領域に関する情報を発信

コンテンツ数の拡大

速報性の高いニュース・トレンド解説に留まらず
ストック性の高い動画コンテンツ数を増加

ショート動画配信

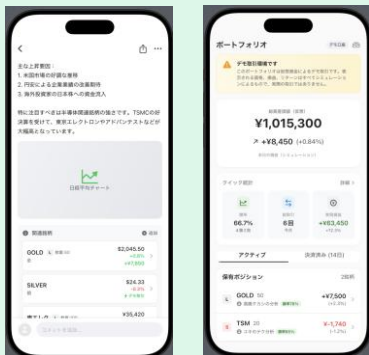
動画コンテンツのリーチ数を伸ばすため
ショート動画配信を実施

メンバーシップ・プライム登録など各サブスクリプションの価値向上と、継続的なUIUXの改善により、高い利便性・顧客体験の向上を狙う

メンバーシップの価値向上

新しい情報の提供開始

デモ取引環境を実装



金融市場の重要情報サマリー

マーケット情報のサマリーページを拡充

プライム登録の価値向上

ユーザー利便性向上による機能改善

新規クリエイター向けプログラム提供

新規・成長促進観点
活動開始直後のクリエイター限定で特典提供

プライムクリエイター制度の強化

既存・成長動機観点
魅力的な収益源の提供

コンテンツアイディアの提供

金融系クリエイター用に
マーケットダッシュボードなどの提供

UIUXの継続改善

満足度の高いサービスへ向けた開発

アプリ動作の高速化・安定化

起動・動作スピードを高速化・安定化し
利便性を向上

レコメンド機能の改善

登録時のオンボーディングにより
興味関心に合わせアルゴリズム改善

機能の選択・集中

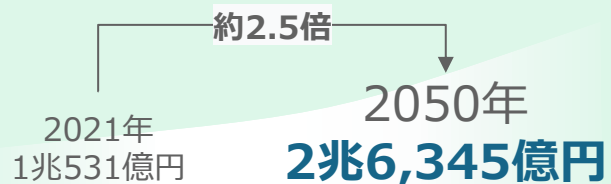
価値を棄損しない範囲で極力シンプルな
サービスへするため、既存機能の見直し

「歩く」「寝る」でTakaコインが貯まるポイ活アプリで健康関心層の顧客獲得 有料プランも提供
サービス利用で貯まったTakaコインはPostPrimeサービスへ利用可能
Takaコインはビットコインへも交換可能

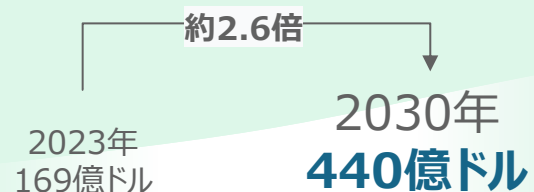
「健康」領域市場の拡大

運動・睡眠産業の
市場規模は成長予測

「運動」に関わるサービスの国内市場規模 (※1)



スリープテックデバイスの世界市場規模 (※2)



“「健康」も投資対象へ”

「歩く」「寝る」で
コインが貯まるポイ活アプリ

健康習慣を資産へ



運動・睡眠の量でコインが貯まる

ビットコインへ交換可能



今後の構想
(事例)

EC領域へのチャレンジ

自社製品の開発・販売

サプリメント開発・販売



ライブコマースの活用

世界のライブコマース市場規模 (※3) は
9年間で約5.7倍へ成長

2023年
11億ドル

2032年
63億ドル

※1: 経済産業省「令和6年 健康経営の推進について」 ※2: DelveInsight 「Sleep Tech Devices - Market Insights, Competitive Landscape, and Market Forecast - 2030」
※3: Straits Research: 「世界のライブコマースプラットフォーム市場: カテゴリ別 (アパレルとファッション、化粧品とパーソナルケア、家電、家具、エンターテインメント) および地域別情報 - 2032年までの予測」

TakaTrade 商品CFD取引サービスを開始

PostPrime

取扱銘柄数は、業界最多水準*の22銘柄。事前申込を含め、8月で口座開設が1,200を突破
創設者・高橋ダニエル圭に会える「VIP顧客向け特別プログラム」を新設

PostPrimeとのシナジー



PostPrime



YouTube

Dan Takahashi 公式YouTube
チャンネル登録者数：約55万人

TakaTrade 5つの強み

「お金」にまつわる情報交換ができる
コミュニティPostPrimeとの連携

業界最多水準の22銘柄で
幅広い投資家を取り込み

シンプルな高機能ツール
TradingViewチャートを実装

新興フィンテック企業としての
ブランド力と発信力

お客様のご要望を、スピーディーに
カタチにできるエンジニアチーム

今後の成長戦略

PostPrime圏内の投資家の
ニーズに対応した投資商品拡充

例：株価指数・FX
オプション・個別株・ETFなど

独自ブランド力を活かした大口顧客の
獲得とリテンション強化

他社にない強みで
大口顧客の囲い込みを進める

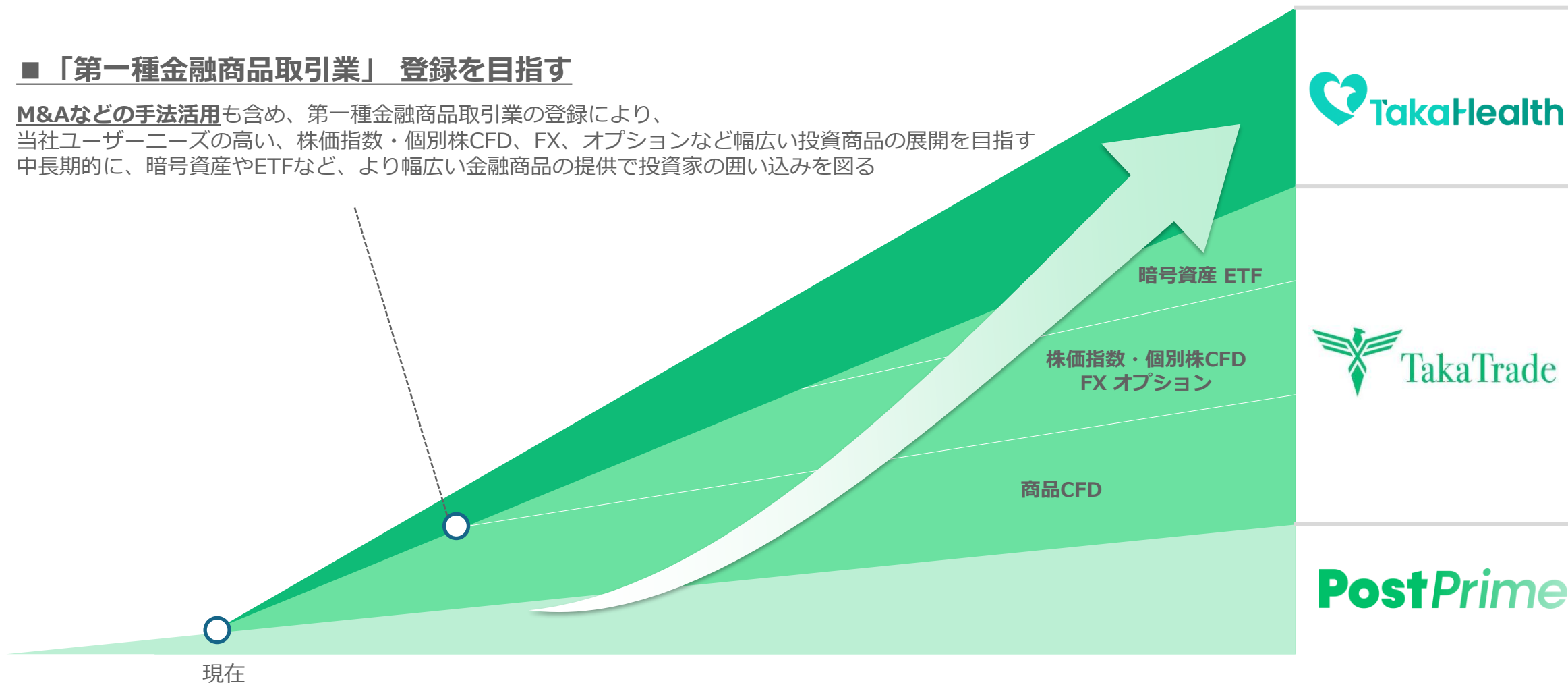
常識にとらわれないサービスや
ツールをスピーディーに展開

ユーザーの声をスピーディーにカタチにし
他社との差別化で新規獲得強化

PostPrimeでの成長を起点に、新規事業で業績を伸長させる計画

■「第一種金融商品取引業」登録を目指す

M&Aなどの手法活用も含め、第一種金融商品取引業の登録により、当社ユーザーニーズの高い、株価指数・個別株CFD、FX、オプションなど幅広い投資商品の展開を目指す
中長期的に、暗号資産やETFなど、より幅広い金融商品の提供で投資家の囲い込みを図る



資料に含まれる将来予想に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。

将来予想に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報及び成長余力等が含まれます。

そのため、これらの将来予想に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは著しく異なる場合があります。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な社会構造の変化に関する情報等の当社以外に関する情報が含まれています。

当社は、これらの情報の正確性、合理性及び適切性等について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてこれを保証するものではありません。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。